

鳥取県肝臓病月間取組に関するアンケート結果まとまる

鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会

■ 日 時 平成27年2月14日（土） 午後2時30分～午後3時50分

■ 場 所 倉吉交流プラザ「第1研修室」 倉吉市駄経寺町

■ 出席者 26人

魚谷健対協会長、川崎対策委員長

芦田・大城・岡田・岸本・孝田・陶山・永原・野坂・廣岡・藤井・細川・

前田・松木・松田・的野・満田・森・山下各委員

県健康政策課がん・生活習慣病対策室：村上室長、米田課長補佐

久保田係長

健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

【概要】

・平成25年度肝炎ウイルス検査受診者数は8,126人で、受診率は4.1%、平成24年度に比べ、受診者数3,349人、受診率が1.8ポイント増加した。受診者数は年々増加傾向である。検査の結果、HBs抗原のみ陽性者は148人（陽性率1.8%）、HCV抗体のみ陽性者は35人（陽性率0.4%）である。

また、平成7～9年度の検診時において、市町村から報告のあった対象者数192,315人に対し、平成7～25年度の19年間の受診者は132,946人、推計受診率69.1%で、そのうちHBs抗原陽性者は3,133人（陽性率2.36%）、HCV抗体陽性者は3,644人（陽性率2.74%）である。

・県は、平成25年から毎年7月を鳥取県独自に「鳥取県肝臓病月間」と定め、月間中に、独自に制作したテレビCMやラジオCMの放送、街頭キャンペーンの実施のほか、チラシ・ポスターを作成し、医療関係機関や市町村へ配布・掲示するなど、幅広く啓発活動を実施。この啓発活動の効果等を尋ね、今後の取組の参考とするため、県

政参画電子アンケート会員と県が実施する無料肝炎ウイルス検査の受検者を対象にアンケートを実施した結果、受検者の12.1%がテレビ・ラジオCMをみて、検査を受けるなどある程度効果はあったと思われるが、委員からCMに受診先、相談窓口の案内を含めて流した方がいいのではという意見があった。

・「鳥取県肝炎治療特別促進事業」として、B型及びC型肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療）への公費による助成制度を実施している。国が、平成26年9月にC型慢性疾患に対する「インターフェロンフリー治療」を新たに助成対象としたこと、また、12月にプロテアーゼ阻害剤（バニプレビル）による3剤併用療法の初回治療について、治療費助成の対象としたことに伴い、「鳥取県肝炎治療特別促進事業実施要綱」の一部改正を行った。

挨拶（要旨）

〈魚谷健対協会長〉

皆様には、日頃から健対協事業にご尽力頂き、深謝致します。鳥取県は以前から肝がんの死亡率が全国平均に比べ高いことから、県においても、啓発活動、無料肝炎検査事業等に取り組まれている。本日は、平成25年度実績、平成26年度実績見込み、アンケート調査結果、検診発見がん患者確定調査結果報告等が主な議題にあがっている。皆様方の熱心なご討議を頂き、今後の対策につなげたい。よろしく願います。

〈川崎対策専門委員長〉

鳥取県は肝臓病が多く、肝臓がんの死亡率が高い。日本全体としては、肝がん死亡者数が3万5千人を下回るようになり、減少傾向にある。また、肝炎ウイルスの治療薬も日進月歩であり、年内に新しい治療薬が二つ承認されると、C型肝炎ウイルスはほぼ100%駆除出来る時代となる。今後、肝臓病は減ってくると思われるが、2024年ぐらいまでは、肝臓がん死亡者数は高いままである。

2年前から7月を肝臓病月間と定め、啓発活動を行っているが、県民の50%ぐらしか浸透していない。今までに肝炎ウイルス検査を、1度も受けたことがない方が多くおられるので、この委員会で啓発活動のあり方についてご協議願う。

議 事

1. 平成25年度肝炎ウイルス検査実績報告並びに平成26年度事業実績見込み及び平成27年度実施計画について：

久保田県健康政策課がん・生活習慣病対策室係長

（1）平成25年度肝炎ウイルス検査

平成25年度は18市町村で実施し、対象者数198,427人のうち、受診者数は8,126人で、受診率は4.1%で、平成24年度に比べ、受診者数3,349人、

受診率が1.8ポイント増加した。平成23年度より国が40歳以上5歳刻みの方を対象にした無料クーポン券事業を導入したこと等により受診者数は年々増加傾向である。

特に米子市は昨年度に比べ、受診者数が約3,000人も多かった。これは、国の無料クーポン券事業の対象だけではなく、すべての年齢層を対象とし、地域の医療機関から受診勧奨に働きかけていただいたことによるとのことだった。

検査の結果、HBs抗原のみ陽性者は148人、HCV抗体のみ陽性者は35人で、HBs抗原陽性率1.8%で、平成24年度に比べ0.1ポイント増であった。また、HCV抗体陽性率0.4%で、平成24年度に比べ0.1ポイント減であった。HCV抗体陽性率は年々減少傾向である。

要精検者183人のうち精検受診者は132人であり、精検受診率は72.1%で、平成24年度に比べ15.9ポイント増であった。精検の結果、がんが1人発見された。68.8%は無症候性キャリアであった。

受診者は60歳代が多く、HBs抗原陽性率は50歳代から70歳代にかけて高く、HCV抗体陽性率は高年齢者が高い傾向にある。

（2）肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査の状況について（県事業の肝臓がん対策事業）

平成10年度から実施している、検診で発見された肝炎ウイルス陽性者に対する定期検査は15市町村で実施された。結果は以下のとおりである。

区 分	健康指導対象者 (人)	定期検査受診者数 (人)	定期検査結果 (人・%)			
			慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	がん疑い
B型肝炎ウイルス陽性者	1,596	765	147 (19.2)	6 (0.8)	7 (0.9)	3 (0.4)
C型肝炎ウイルス陽性者	837	392	207 (52.8)	13 (3.3)	10 (2.6)	1 (0.3)

肝臓がんと報告された中には、過去の定期検査で「がん」と報告されたものも含まれている。

(3) 平成7～25年度の19年間を集計すると、平成7～9年度の検診時において、市町村から報告のあった対象者数192,315人に対し、受診者数132,946人、推計受診率69.1%である。そのうちHBs抗原陽性者は3,133人（陽性率2.36%）、HCV抗体陽性者は3,644人（陽性率2.74%）であった。

年代別でみると、平成7～25年度平均HCV抗体陽性率は60歳以上が高く、HBs抗原陽性率は40歳・50歳代が高い傾向である。

(4) 平成26年度実施見込み及び平成27年度実施計画について

平成26年度の受診予定数は国庫事業の肝炎ウイルス検査は18市町村実施で7,927人、市町村単独事業は6町実施し866人の見込みである。

平成27年度実施計画は国庫事業の肝炎ウイルス検査は18市町村実施で8,006人、市町村単独事業は6町実施で940人を計画している。

(5) その他

無料肝炎検査の平成25年度実績及び平成26年度中間報告について

保健所においては、平成25年度実績はB型肝炎検査281件、C型肝炎検査274件、B型、C型ともに陽性率は1.1%、平成26年度は、12月末中間報告はB型肝炎検査209件、C型肝炎検査209件、B型、C型ともに陽性率は0.5%であった。

医療機関においては、平成25年度実績はB型肝炎検査682件、C型肝炎検査677件、B型陽性率0.9%、C型陽性率0%、平成26年度は、12月

末中間報告はB型肝炎検査1,319件、C型肝炎検査1,328件、B型陽性率1.4%、C型陽性率0%であった。

平成25年度から働き世代への無料肝炎ウイルス検査アクセス向上事業として、職域検診においても、無料肝炎ウイルス検査の受診勧奨を行ったところ、受診者数が倍加した。

2. 平成25年度肝臓がん検診発見がん患者確定調査結果について：松田裕之委員

(1) 平成25年度肝炎ウイルス検査からは肝臓がんが7名発見された。肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査の結果、がん及びがん疑いの者が22名発見され、そのうち9名は過去の検診、定期検査で既にごんと診断されていた。残り13名の確定調査を行った結果、B型肝炎ウイルス陽性者から肝臓癌が3名、C型肝炎ウイルス陽性者から肝臓癌が7名であった。がんでなかったものが2名、現在調査中のものが1名であった。

(2) 平成7～24年度肝臓がん検診発見がん患者のうち、25例が確定癌であり、そのうち22例は死亡、生存中の3例のうち、2例は再発、1例は再発されていない。また、平成10～24年度定期検査確定がんが132例で、そのうち85例（他病死を含む）が死亡である。

がんと診断されてから10年以上生存されている方は、非常に稀であり、肝炎ウイルス検査で陽性の方を早期に発見し、定期検査をきちんと受診していただくことが重要である。

3. 鳥取県肝臓病月間取組に関するアンケート結果について：

久保田県健康政策課がん・生活習慣病対策室係長

県は、平成25年から毎年7月を鳥取県独自に「鳥取県肝臓病月間」と定め、月間中に、本県独自に制作したテレビCMやラジオCMの放送、街頭キャンペーンの実施のほか、チラシ・ポスターを作成し、医療関係機関や市町村へ配布・掲示するなど、幅広く啓発活動を実施。この啓発活動の効果等を尋ね、今後の取組の参考とするため、県政参画電子アンケート会員と県が実施する無料肝炎ウイルス検査の受検者を対象にアンケートを実施した。その結果は以下のとおりである。

(1) 県政参画電子アンケート：「鳥取県肝臓病月間」の取組に関する調査

対象者：県政参画電子アンケート会員（広く県政の課題についてインターネットを通じてアンケートに回答していただける方）

- ・会員487名中、回答者399名、回答率81.9%。
- ・対象者の約7割が49歳未満を占める。
- ・対象者の約7割が肝炎ウイルス検査を受けたことがない。
- ・このアンケート以前にテレビ及びラジオでのCMを全く見た（聴いた）ことがないと回答した人は対象者の61.7%であった。
- ・CMを見聞きして、肝炎ウイルス検査を受けようと思われたかについては、①CMを見聞きする前から検査を受けているは18.3%、②CMを見て検査を受けてみようと思った15.8%、③CMを見聞きした後に肝炎ウイルス検査を受けたのは0.8%、④CMを見たが検査を受けてみようと思わないは25.6%であった。
- ・肝炎ウイルス検査を受けてみようと思わない主な理由は、検査に行くのが面倒である、どこに行けば検査してもらえるのか分からない等であった。

(2) 肝炎ウイルス検査の受検動機についてのアンケート

対象者：県が実施する無料肝炎ウイルス検査の受検者

- ・回答者103名。
- ・対象者の66%はテレビ・ラジオでのCMを見た（聴いた）ことがない。
- ・肝炎ウイルス検査を受けたきっかけは、①健康管理に必要29.3%、②テレビ（ラジオ）CMを見た12.1%、③チラシ・ポスターを見た2.9%、④知人が検査を受ける（受けた）から5.7%、⑤知人やかかりつけ医に検査を勧められたから1.4%、⑥窓口で検査を勧められたから6.4%、⑦無料だったから30.0%であった。

以上の報告から、テレビ・ラジオでのCMの効果はあったと思われる。CMに受診先、相談窓口の案内を含めて流した方がいいのではという意見があった。

4. 「鳥取県肝炎治療特別促進事業実施要綱」の一部改正について：

村上県健康政策課がん・生活習慣病対策室室長

「鳥取県肝炎治療特別促進事業」として、B型及びC型肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療）への公費による助成制度を実施している。国が、平成26年9月にC型慢性疾患に対する「インターフェロンフリー治療」を新たに助成対象としたこと、また、12月にプロテアーゼ阻害剤（パニプレビル）による3剤併用療法の初回治療について、治療費助成の対象としたことに伴い、「鳥取県肝炎治療特別促進事業実施要綱」の一部改正を行った。

インターフェロンフリー治療の医療給付の申請については、特例的な取扱いとして、平成27年3月31日までに申請した者について、平成26年9月

2日まで遡って受給を受けることが可能である。
また、医療費助成申請の診断書作成は、日本肝臓学会肝臓専門医に限ることとした。

5. その他：

久保田県健康政策課がん・生活習慣病対策室
係長

県の肝臓がんによる死亡率が全国に比べて高い
ことから、精密検査未受診者の解消を図るため、

県及び市町村（健康増進事業）が実施する肝炎ウイルス検査受診者のうち、検査の結果、陽性と診断された者に対して精密検査費用を助成することで、精密検査の受診やウイルス性肝炎の適正治療の促進を図ることを目的に、平成26年4月より「肝炎ウイルス精密検査費助成事業」を開始した。平成26年5月14日～12月末で23名が利用されている。

肝臓がん検診従事者講習会及び肝臓がん検診症例研究会

日 時 平成27年2月14日（土）
午後4時～午後6時10分

場 所 倉吉交流プラザ「視聴覚ホール」
倉吉市駄経寺町

出席者 94名
（医師：90名、看護師・保健師：2名検査技師・その他：2名）

岡田克夫先生の司会により進行。

講 演

鳥取県健康対策協議会理事 岡田克夫先生の座長により、岡山大学病院三朝医療センター副セン

ター長 芦田耕三先生による「肝がんの予防と早期発見のために—外来診療でできること—」の講演があった。

症例検討

満田朱理先生の進行により、3地区より症例を報告して頂き、検討を行った。

- 1) 東部（1例）－鳥取赤十字病院 満田朱理先生
- 2) 中部（1例）－鳥取県立厚生病院 永原天和先生
- 3) 西部（1例）－山陰労災病院 西向栄治先生

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ（<http://www.tottori.med.or.jp>）のトップページ右領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→ 「鳥取県健康対策協議会」
<http://www.kentaikyou.tottori.med.or.jp>

